



ショウジョウバカマ (ユリ科)

雪解けを待つて咲く花。子どものころ「谷地花っこ」の方言で花を摘み、葉をふくらまして遊んだ花。

写真は今のものですが、これからどんどん茎を伸ばし花色もよくなります。花が黄緑色に変わってもずっと残っています。

常緑で厳冬を耐えてきた葉の厚み、光沢、さえた花色の美は雪国ならではのもので、地方によって差異があります。名前の<sup>シロクマ</sup>狸々袴は、その花色と葉が根もとに広がる形からつけられたと言われます。狸狸と言えばオランウータンや大酒家を想いますが、植物名にもショウジョウスゲなど数種あって、いずれも赤色をおびています。

今、芝谷地東側にザゼンソウといつしよに見ごろです。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□桜前線が北上していますが、我が大館市にはいつのことか。つぼみは少しづつ膨らみを見せてはいるものの、まだ咲く気配はありません。私も広報の仕事をして二度目の春を迎えましたが、まだまだ花を咲かせていない感があります。(ま)

□四月に入ってから、連日の雪。気温も上がらない日が続きました。北上を続けていた桜前線も停滞気味のような感じです。桜の開花が二十五日開幕の桜まつりに間にあうのか心配なところです。二十五日には郷土博物館もオープン。ゴールデンウィーク期間中はすっきりと晴れ、暖かくなってほしいものです。(咲)

□春。入学、進級、就職、異動と、皆さんそれぞれの春を迎え、気持ちを新たにされていることと思います。しばらくの間は心に余裕も持てず、気ぜわしい毎日が続くのでしょうか。でも、どうかくじけないで頑張ってください。苦しいのはきつと自分一人ではありませんから。(ゆ)

● 広報おおだて 平成8年4月16日号(No651)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

● 広報おおだては再生紙を使用しています。